

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班

提出日：令和 03 年 5 月 5 日 報告者：小笠原恵

行事種別	講演会	行事番号	210000115	
開催日	令和 03 年 4 月 3 日 (土)			
時間	開始	15 時 30 分	終了	17 時 0 0 分
場所	常滑市民病院にて Web ライブ配信 (所在地 常滑市)			
テーマ	生殖補助医療と内視鏡手術			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	社会医療法人財団新和会 八千代病院	小笠原 恵 技師		
講師	常滑市民病院 婦人科統括部長 黒土升蔵 講師			
内容	<p>2021 年度生殖医学検査研究班講演会は、新型コロナウイルスの影響で集合型ではなく Web ライブ配信として Zoom を使用し常滑市民病院から生配信した。講演会のテーマは、「生殖補助医療と内視鏡手術」としてご講演いただいた。不妊症の診療においては、まず必要な検査を行い原因に対する適切な治療を行うことが肝要である。私たち胚培養士は基礎的検査としての精液検査を始め、高度生殖補助医療としての体外受精に日々携わる中で、婦人科の子宮内膜ポリープなどの基礎疾患治療をあながち軽視しがちである。しかし、子宮筋腫や子宮内膜症、子宮内膜ポリープ、卵管閉塞などの器質性疾患が不妊症の原因と考えられる場合には、腹腔鏡手術、子宮鏡手術、卵管鏡手術などの内視鏡手術の適応を考慮すべきであるという基本概念を今一度この講演を通じて教えていただいた。</p> <p>前半は、多くのスライドを提示し初心者でもわかり易く生殖補助医療をご説明いただいた。生殖補助医療のルールは、個々のクリニックや病院によっても統一したものがないのが現状である。常滑市民病院の生殖補助医療の治療方針は、自施設と比較することができ大変参考になった。後半は、具体的な内視鏡手術の動画を、多くの症例を挙げ且つイラスト付きのガイドがあり、非常にわかり易くそして興味深く聴講することができた。どの症例も大変貴重な映像であり、見ている私たちは瞬きすら惜しむほど釘付けになった。また術後の妊娠経過も話され、日常業務に直結する症例として大変勉強になった。また必ずしも婦人科疾患を治療した後に、生殖補助医療に移行するのが前提ではなく、患者の年齢や疾患背景等を考慮した治療方針に対しても、大変共感でき明日からの業務に大いに役立つ内容であった。Zoom ライブ講演は、大きなトラブルもなく無事終了す</p>			

	ることができた。
参加者	総数：22名（会員16名、県外会員5名、その他講師1名）
共催、後援など	

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班

提出日：令和 03 年 10 月 17 日 報告者：小笠原恵

行事種別	研究会	行事番号	210004940	
開催日	令和 03 年 9 月 4 日（土）～ 9 月 18 日（土）			
時 間	開 始	オンデマンド配信	終 了	オンデマンド配信
場 所	オンデマンド配信			
テーマ	生殖医療と COVID-19			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司 会	常滑市民病院	明壁 均 技師		
講 師	社会医療法人財団新和会八千代病院 小笠原 恵 技師 クックメディカルジャパン合同会社 クリニカルスペシャリスト 岡本 加奈子 講師			
内 容	<p>2021 年度 9 月生殖医学検査研究班研究会は、新型コロナウイルスの影響で集合型ではなくオンデマンド配信として実施した。研究会のテーマは、「生殖医療と COVID-19」とし最新のトピックを取りあげたテーマとした。前半は「当院における COVID-19 と不妊治療の現場」として八千代病院 小笠原恵技師にご講演いただいた。内容は胚培養士として生殖補助医療の現場において COVID-19 による影響を実際の様々な事例を例にあげてお話された。学会の勧告から一時不妊治療を中断せざるを得ない状況は、時間的猶予のない不妊治療患者に対して大きな影響力を与えたことがわかった。不妊治療件数にも影響あり混乱をもたらしていることを数値で確認することができた。また胚操作に使用するピペットなど業務に直結する感染症対策も今後実施していかなければならないと感じた。後半は「IVF Lab work "COVID-19 から見えてきたこと"」としてクックメディカルジャパン合同会社 岡本加奈子氏にご講演いただいた。現在最も関心が高いワクチン接種を中心に、配偶子の COVID-19 の直接的な影響があるのかを海外の論文から現在分かっている最新の情報を提供していただいた。ヨーロッパ生殖医学会 ESHRE やアメリカ生殖医学会 ASRM の HP から COVID-19 の知っておきたいトピックスも交えてお話された。また感染症対策の基礎となる部分にも触れ LABO 業務における最低限必要な感染症対策の基礎を提示していただいた。2 つのセクションから日々の業務に直結する内容であり大変有意義な内容となった。新型コロナウイルスが一日でも早く収束してくれることを願い、不妊治療をしている患者さんが安心して治療を受けられる環境を提供できる一助となればと考える。</p>			

参加者	総数：59名（会員35名、県外会員23名、その他講師1名）
共催、後援など	

2019.12.7

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班

提出日：令和 04 年 02 月 27 日 報告者：小笠原恵

行事種別	研究会	行事番号	210016235	
開催日	令和 04 年 2 月 5 日 (土) ~ 2 月 18 日 (金)			
時 間	開 始	オンデマンド配信	終 了	オンデマンド配信
場 所	オンデマンド配信			
テーマ	愛臨技精度管理報告会			
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点			
司 会	なし			
講 師	トヨタ記念病院 平松 博子 技師 社会医療法人財団新和会八千代病院 小笠原 恵 技師			
内 容	<p>2021 年度 2 月生殖医学検査研究班研究会は、新型コロナウイルスの影響で集合型ではなくオンデマンド配信として実施した。研究会のテーマは、「愛臨技精度管理報告会」とし精液検査の精度管理報告会を取りあげた。生殖医学検査部門として愛知県臨床検査技師会精度管理事業部に新たに設置され 2 年目を迎える。今回は過去 2 年間の精度管理調査報告としての研究会とした。前半は「令和 2 年度愛臨技精度管理調査報告」としてトヨタ記念病院 平松博子技師にご講演いただいた。生殖医学検査部門として初めての精度管理の取り組みとなった調査報告の解説となる。生殖医療分野の唯一の検体検査である精液検査方法を中心に出题した設問に対するの解説を実施した。精液の採取に関しては、AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会から発行されたリーフレット“検査のせつめい”より具体的な採取方法について分かりやすく説明いただいた。精子の運動率の測定に関しては、改良型 Neubauer 血球計算盤を用いた正しい測定方法を解説された。精子が全く観察されなかった場合の検査方法や報告方法についても要点を抑えた解説をまじえ臨床に直結する内容となった。アンケート結果においては、「ヒト精液検査と手技」WHO ラボマニュアル第 5 版での基準値を使用している施設が大半を占めていることがわかり今後の基準値のあり方に関して明確な方向性が示された。後半は「令和 3 年度愛臨技精度管理調査報告」として社会医療法人財団新和会八千代病院 小笠原恵技師が講演した。2 年目となる精度管理調査に関して「ヒト精液検査と手技」WHO ラボマニュアル第 5 版を中心に出题されている設問の解説を話した。精液検査の基準値から精液性状に関する学術用語に関して精液所見の表現方法であり臨床診断として多用されることから出題し</p>			

	<p>た設問内容に関して具体的な基準値の表を示しわかりやすく解説した。また生殖医学検査部門として初のフォトサーベイを実施し、頭部異常に関して Kruger の分類を説明し頭部異常に関して解説した。アンケートに関しては精液検査の染色の有無や精液採取のための部屋である採精室の設置を問う設問など具体的なクリニックおよび病院での現状を知ることができる内容であった。2つのセクションから日々の業務に直結する内容であり大変有意義なものとなった。全国の臨床検査技師会の中でも生殖医学検査の分野はまれであり、貴重な精度管理の取り組みに関して大変興味深い内容となった。</p>
参加者	総数：37名（会員24名、県外会員13名）
共催、後援など	

2019.12.7